



Kumamoto City

News Release

令和6年(2024年)12月26日

市民のみなさまへの注意喚起 ～つつが虫病患者の発生について～

令和6年(2024年)12月23日に、熊本市内の医療機関から熊本市保健所に対して「つつが虫病発生届」が提出されました。熊本市在住の患者としては、令和6年(2024年)1月以降においては初めての事例となります。

この病気は、ダニに咬まれることで感染するため、感染予防対策としてダニに咬まれないようにすることが重要です。詳細は下記のとおりです。

1. 患者に係る情報

70歳代、男性、熊本市東区 ※熊本市在住の患者としては、令和6年(2024年)1月以降において初めての事例となります。

2. 経過

12月7～8日 熊本県内で樹木の手入れを行う。

12月10日 倦怠感と食欲低下の症状あり。

12月12日 悪寒と一時的に右上下肢麻痺が出現し、熊本市内の医療機関Aに救急搬送され、受診後、帰宅。倦怠感と食欲低下が持続。発熱はなし。

12月13日 体幹に発疹が出現。市販外用薬を塗布するが、改善なし。

12月20日 医療機関Aの紹介により、熊本市内の医療機関Bを受診し入院。発熱(37.9℃)及び全身に発疹あり。抗生剤の投与が開始される。医療機関Bから熊本市保健所へつつが虫病疑い患者として検査依頼。

12月23日 検査の結果、つつが虫病の陽性判明。医療機関Bから熊本市保健所へ発生届が提出される。現在、入院中だが解熱し、食欲も回復。

3. 患者の発生状況 ※令和6年(2024年)第1～50週(1月1日～12月15日)時点
全国 291件、熊本県 8件、熊本市 2件(市外在住)

4. つつが虫病について

つつが虫病は、病原体(リケッチア)を保有するダニに咬まれることで感染します。潜伏期間は5～14日で、全身倦怠感、食欲不振とともに頭痛、悪寒、発熱などを伴って発症します。感染予防対策としては、ダニに咬まれないようにすることが重要です。野山などに立ち入る際は、(1)長袖、長ズボンを着用し、サンダルのような肌を露出するようなものは履かない、(2)ダニ忌避剤を使用する、(3)作業後早めに入浴し、ダニの付着について確認を行うことが大切です。

【お問い合わせ先】

健康危機管理課

電話：096-364-3311

課長：迫田 貴美子(さこだ きみこ)